

NOVAホールディングス 日経MJ(11月14日)に掲載されました。

「専門学校(語学・資格・パソコン)・カルチャー教室の売上高ランキング」
NOVAホールディングスは**3年連続1位にランキング**されました。(前年度比8.0%の伸び率)

専門学校(語学・資格・パソコン)・カルチャー教室の売上高は2・4%増。3年連続のプラスとなった。インバウンド需要の拡大や2020年度に英会話教室のニーズが拡大した。資格取得を支援する専門学校や出版社の売り上げも伸びた。首位のNOVAホールディングス(東京・港)は8・0%増。2年連続で高成長となった。東京五輪などによる英語熱の高まりを受けて、子供、大人を問わず受講生数が順調に伸びている。2位のヒューマンアカデミーは4・8%増だった。日本語学校の在校生数が16年度比で24・1%増

英会話教室が好調

増加したのが主な要因だ。3位のニチイ学館は1・8%減。減少幅は縮小したものの2年連続のマイナスだった。語学事業の不振が続いており、英会話教室「GABA」と「COCO塾」の構造改革を進めている最中だ。安倍晋三首相は「一人づくり革命」を掲げ、社会人の学び直しを政策で支援する方針だ。IT(情報技術)の技能向上などの講座を受ける従業員への助成金の給付率を4割に倍増するといった支援策を打ち出す。今後は社会人の学び直し需要をどれだけ取り込めるかがさらなる成長に向けたカギといえそうだ。

専門学校(語学・資格・パソコン)・カルチャー教室 **2.4%**

順位	社名	本社	部門売上高(百万円)	前年度比伸び率(%)	決算月
1	※NOVAホールディングス(NOVA、GEOSほか)	東京GF	32,001	8.0	11
2	ヒューマンアカデミー	東京	19,954	4.8	3
3	ニチイ学館	東京GF	15,951	▲1.8	3
4	TAC	東京	12,493	1.6	3
5	NHK文化センター	東京	6,994	▲1.0	3
6	カルチャー	神奈川	6,648	▲3.8	2
7	朝日カルチャーセンター	東京	3,555	1.6	3
8	※セブンカルチャーネットワーク(池袋CC、セブンCC)	東京	3,539	▲3.5	2
9	読売・日本テレビ文化センター(よみうりカルチャー)	東京	3,328	▲2.8	3
10	JEUGIA	京都G	2,754	▲1.0	3
11	東京急行電鉄(東急セミナーBE)	東京	918	▲5.5	3
12	ヴォーグ学園	東京	859	0.8	9
13	道新文化センター	北海道	781	▲3.3	3
14	近鉄百貨店(近鉄文化サロン)	大阪	757	▲1.6	2
15	神戸新聞文化センター	兵庫	607	0.0	3
16	静岡朝日テレビカルチャー	静岡	454	4.6	3
17	※東武カルチャースクール(東武カルチャースクール)	東京	268	2.7	2

【専門学校(語学・資格・パソコン)・カルチャー教室】語学や資格の習得を目的とした専門学校の運営企業、および全国民間カルチャー事業協議会会員などの有力企業が対象。NOVAホールディングスは売上高に学習塾・予備校含む。セブンカルチャーネットワークは国際会計基準を採用。東武カルチャースクールは2018年10月消滅